

館報 八重原

第 128 号

編集・発行
館報編集委員会
八重原公民館
君津市南子安9-17-2
TEL 0439 (55) 1840
FAX 0439 (55) 1940

八重原地区人口	
令和5年1月末日現在(前号比)	
男	12,172 (-60)
女	11,994 (-73)
計	24,166 (-133)
世帯数	11,705 (-36)

八重原公民館のHPでは各種情報を発信しています。



ありがとう 内箕輪・南子安保育園



八重原地区の子育て環境を約50年間支えてきた内箕輪保育園、南子安保育園が今月末で閉園します。両保育園の園長にメッセージをお寄せいただきました。4月からは民営化され新たな保育園が開園します。

笑顔をいつまでも
南子安保育園 園長 梶川 和代



昭和50年に開園した南子安保育園。48年の間に小さかった銀杏の木が大きくなり、園庭にあった築山が

なくなると、目に見えて変わった所もありますが、子どもたちの元気な声や明るい笑顔はいつの時も変わらなかったように思います。地域の方には、散歩中に声をかけてくださったり、にわか雨が降ってきた時にカーポートで雨宿りをさせてくださったり、子どもたちの事を気にかけていただきました。そして、南子安保育園のお友達。これからもいろいろな経験をしたいの皆でいて



平成10年頃の南子安保育園の様子

大好きな
内箕輪保育園
内箕輪保育園 園長 坂本 陽子



なんて閉かで落ち着いた場所なんだろう。赴任してきた時に感じたことです。

少し歩けば国道や君津市の幹線道路からも近いこの場所は、大きな山に守られ、桜やモミジが色づく自然豊かな場所でした。広い園庭と大きな銀杏の木。四季の自然に抱かれ、よく遊ぶ子どもたち。大きな笑い声、友だちを呼ぶ声、時には泣き声もあります。子どもたちはのびのびしています。散歩もたくさん行きました。近隣の方の温かな眼差しやお言葉に、子どもたちを大切に育んでくださる地域性を感じる場所でした。昭和47年に開園し、現在まで50年余りたちました。子どもたちは『内箕輪』で過ごしてきたことを誇りに思い新たな地に飛び立って行くことと思います。本当にありがとうございます。



昭和52年頃の内箕輪保育園の様子



八重原中学校区の集合写真

20歳のつどい開催

夢に向かって羽ばたけ!!



開催にあたって20歳の皆さんで構成する実行委員会を結成し、自分たちで企画や準備、当日の運営を担いました。両地区



これまで「成人を祝う集い」として開催されてきましたが、成人年齢が18歳に引き下げられたことで、「20歳のつどい」に名称が変わり、1月8日に君津市民文化ホールで開催されました。今年も、君津中学校区158名、八重原中学校区72名の20歳の皆さんが参加されました。

八重原中学校区では、20歳のみなさんに声を掛け、寄せられた写真で作ったモザイクアート制作や、事前に集めたアンケート結果をもとにインタビューを行いました。また、学生時代にお世話になった恩師からビデオレターでお祝いのメッセージが寄せられ、温かいつどいになりました。



君津中学校区インタビュー

とも実行委員会で様々な意見が交わされ企画を練り上げていきました。君津中学校区では、今回のつどいを節目に、それぞれの「将来につながる機会」をつくりたいということから、参加された皆さんにインタビューを行いました。「いまがんばっていることは何か?」「子供のころに思い描いたような大人になっっているか?」「夢」や「目標」など、頑張っている仲間たちの話を聞いて刺激し合えたのではないかと思います。



八重原中学校区実行委員



君津中学校区実行委員

コロナ禍にも負けず、一生懸命に進んでいこうとする姿がたくましく思えました。これを機に地域社会の仲間として、一緒に地域を支えていきましよう!!



八重原中学校区インタビュー



君津中学校区の集合写真

**二十歳の
メッセージ**

新成人が読み上げた二十歳の
メッセージを一部抜粋してご紹
介します。



君津中学校区
島津 陸斗

本日、人生の大きな節目を無事に迎えることができたことを大変うれしく思います。

私たちは日々たくさんの方と支えあって生きています。当たり前すぎて気づくことが難しいですが、こうして新成人としての節目を迎えることができた今、人との関わりや支えあいの尊さを強く感じます。

愛情をもって支えてくれていたる家族、友人、恋人、そして私たちに学びを与えて、見守ってくださいっている先生方や地域の皆様のおかげで、私たち新成人はここまで成長することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

「心からありがとうございます。ありがとうございました」

皆さんの中には、就職し日々社会に貢献している人、夢を叶えるために努力をしている人、

大学や専門学校で学業に励んでいるなど、それぞれの道を歩んでいると思いますが、感謝の気持ちを忘れないこと、大人としての自覚と責任を持つことは、どんな時も忘れてはいけません。

これまで支えてくれた方々にこれからは恩返しができるよう、それぞれの目標に向かって進んでいきましょう。

最後に、私たちは間違ったり挫けそうなきは、共に支えあいながら、社会の一員である自覚を持ち、大人として責任をもって社会に働きかけていくことを誓います。



八重原中学校区
森田 大弥

本日は私たちのためにこのような盛大な式を開いていただき、誠にありがとうございます。

この20年間、私たちは多くの人に支えられながら成長することができました。時にはぶつかりながらも共に歩んできた仲間たち、我が子のようにご指導くださった先生方、いつも近くで見守ってくださいる地域の方々、たくさんの方々の愛情を注いでくれた両親に感謝

の気持ちでいっぱいです。最近では地域の人間関係が希薄になっていくと聞きますが、私たちの生まれ育った君津市は通学時すれ違う人たちに挨拶をすると、笑顔で挨拶を返してくれる人ばかりです。つくづく温かい人たちに守られて育ってきたんだな、と感じます。そんな日々が今では懐かしく思い出されます。

私は現在、ここ君津市を離れて、箱根駅伝を目指して神奈川の関東学院大学陸上競技部に所属しています。もともと小学生の時から長距離を走るのが得意でした。今は箱根駅伝出場に向かってチーム一丸となり日々取り組んでいます。

来年、第百回大会を迎える箱根駅伝、その予選会にチームの代表に選ばれ、箱根駅伝出場の切符を勝ち取れるように頑張ります。今までたくさんの場面で助けてもらった分、恩返しができるかと思っています。

ぜひ関東学院大学陸上競技部の応援をよろしく願っています。今日から晴れて大人の仲間入りをしますが、まだまだ未熟な私たちです。ご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。

公民館事業の紹介

もしもに備える!

防災講座



いつやってくるかわからない災害から、家族や身の回りの人を守るために、身近な備えを学びました。全3回の本講座は、第2回までを座学で日ごろの備えや災害時の行動について学びました。

第3回は、これまで学んだことを生かして、大地震の発生をシミュレーションした1泊の避難所体験を行いました。

かけはし文庫

おすすめの
本紹介

●岳 真也 作

家康と信康 父と子の絆



本書は題名の通り「鳴かぬなら 鳴くまで待とう ホトギス」で知られる我慢の人、徳川家康の人生を描いたものです。

が、本書では「愛息を突然なくした父親の悲痛!」「精神を病んでいた息子の葛藤!」「共に過ごした日々の回想!」といった父と子の絆を、現代の私小説的な作品風に時代小説を移し替えて書かれています。新鮮でとても面白かったです。

また、信長の命で亡き者にせざるをえなかった、築山(家康の妻)と信康(家康の子)の視点で、その日をとらえて書いた「築山の章」と「信康の章」もあり、その日、その時の徳川家康の心情が、築山と信康の言葉を借りて表現されているようで面白く楽しく読めました。

今季の大河ドラマの主人公は「徳川家康」です。こちらの本も読んでおくのも面白いですよ。

BOOKサロンかけはし 山口

事前に持ち物を準備し、自宅から安全なルートを確認し避難、それぞれ用意したもので食事と宿泊をして過ごしました。足りなかったものの点検ができ、必要がなかったものの点検ができ、実際に体験しないとわからないことも多くあり、気づきの多い宿泊体験となりました。

ふれあい学級

65歳以上の方を対象に、7月から全7回で開催してきた学級は1月に閉級しました。今年度は参加した皆さんの意見を取り入れながら、年間の内容を決め進めてきました。運動や健康に関する知識を習

得し地域の歴史を学んだり、移動学習を行いながら参加者同士の交流を深めてきました。皆さん月に1回、学びながら、みんなとちょっとおしゃべりして帰るのを楽しんでいるようでした。また、番外編として2月に行われたスマホ講座に参加された方も多くいらっしゃいました。次年度も学級を計画していますので、ご友人とぜひご参加ください。



あつたか ふれあいサロン

地域のつながりづくりや、介護予防や孤立防止、外出の機会づくりの活動を行っている「君津東地区かまちよろ」主催で、12月に第2回目のあつたかふれあいサロンを開催しました。

当日は八重原地区の方を中心に13名の方が参加し、お茶を飲みながら交流をしました。今回は、君津市消費生活センターの方にお越しいただき、悪質商法撃退法を学んだり、レクリエーションで皆さんとハンドベルの演奏を体験して楽しみました。

来年度からは、偶数月に八重原公民館で、奇数月に周南公民館でサロンを開催していきます。自治会回覧でお知らせしますので、ご近所のお友達と一緒にご参加ください。また、ご協力くださる方も募集しています。

ご興味ある方は、八重原公民館にご連絡ください。



まちかど川柳募集

- マスク越し 目と目で語る いい笑顔
- 明るいい陽射し (外箕輪)
- 麦踏み跡形もなく 戦車ゆく
- 厳冬の地に爆撃で 日々怯え
- 南に食糧難で苦しむ幼き子
- 片や大食いデカ盛りアオる テレビあり

R・K・D (外箕輪)

■投稿方法

✕メールで送信する場合

件名・まちかど川柳

①ペンネーム

②住まい(字名のみ)

③一句(五・七・五)

を記載の上、こちらに送信してください。

yaehara-k@city.kimitsu.lg.jp



持参する場合

用紙に記入し、公民館ロビーにある「まちセンボックス」に投函してください。

編集後記

「この間まで保育園に行っていたと思ってたのに、もう成人なのね」とって会話を思い出しながら、紙面を読んでいました。世界には戦争や災害で苦しんでいる子がたくさんいます。子供達がみな、無事に大きくなれるよう祈るばかりです。

「M」